

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点		都道府県・政令市 等の意見
									【事業全体】 総便益B:3,862億円 総費用C:2,989億円 B/C=1.3	【残事業】 総便益B:1,798億円 総費用C:915億円 B/C=2.0	
1	国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路	自 岐阜県高山市清見町夏厩 至 岐阜県高山市丹生川町坊方	H4年度事業化 H6年度用地着手 H8年度工事着手	2,298 2,445 ※147億円事業費増 ①物価上昇による増額 ②地質改良費用の追加増加 ③基準改訂	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 100% 事業進捗率 約62% (令和5年 3月末時点) 飛驒清見IC～高山IC L=15.2km 平成16年度～平成19年度開通(2/4)	・令和5年度は以下内容を実施 【高山IC～丹生川IC(仮称)】 ・調査推進: 環境調査、水文調査、 新張地区埋蔵文化財調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・用地買収推進: 新張地区移転補償 ・工事推進: 下切高架橋上部工 岩井沢橋下部工 坊方トンネル工	・設計を実施する区間において、航 空写真測量による点群データを取 得し、予備設計において3次元モデ ルを作成。3次元モデルを活用し、 数量算出や施工計画検討の作業効 率化を図る。 ・技術の進展に伴う新工法の採用 等による新たなコスト縮減に努めな がら事業を推進する。	【事業全体】 総便益B:4,057億円 総費用C:3,527億円 B/C=1.2	【残事業】 総便益B:1,671億円 総費用C:928億円 B/C=1.8	継続
									・将来OD表の変更(H22センサス→H27センサス)に 伴い計画交通量が増加 ・費用便益分析マニュアル改訂に伴い、各便益の原 単位、走行台キロの年次伸び率が変更		